

公共施設
管理・整備



民法 正則 議員

Q 旧中公民館の処分について

A <町長>

建物を撤去後整地して、土地は所有者へ返還する。

【Q1】旧中公民館の敷地は借地だが、いつまで借地料を払うのか。

【A1】生活道路確保のための町道改良や整地工事、境界杭打設などの期間を要するため、これらが順調に推移して土地の返還時期を令和3年度末まで見込んでおり、その期間は、お支払いする。

【Q2】土地は更地にして地主に返還するのか。

【A2】当該土地賃貸借契約において原形に復することを要しないとされており、建物を解体して、土地は土の状態にして返還する。

【Q3】旧中公民館は、空き家状態となっており、防災面から不安になる町の対応は。

【A3】防犯面等近隣住民に不安を与えることがないよう解体工事は、令和2年度以内の完了に極力努める。



▲旧中公民館

【Q4】敷地の一部は実質的に近隣住民の生活道路となっている。代わる道路改良工事の具体的な内容は。

【A4】旧中公民館裏の町道拡幅については、測量設計業務を実施している。狭い部分の拡幅延長等については調整中である。

その他の
町行政

Q 庁舎業務内の電子化や書類減量への取り組み状況は

A <町長>

電子決裁等により、業務の効率化、書類の減量化に鋭意取り組んでいる。



福垣内邦治 議員

【Q1】業務用のパソコン配備状況は。

【A1】パソコンを職員全員に配備しメールアドレスも付与している。

【Q2】コピー用紙の購入量、使用状況は。

【A2】毎月約22万枚を購入し、両面印刷などに努め利用率は86%となっている。



【Q3】職員間の連絡文書は。

【A3】サイボウズというグループウェアを導入し庁舎内の連絡事項はこ

サイボウズとは…

主に中小企業等で急速に利用が進んでいるグループウェア（情報を共有するシステム）の一種。スケジュール共有、掲示板、ファイル管理などパソコンを使用して行い、紙の節約、連絡事務の効率化が見込める。



れらによって周知している。電子的な掲示板で職員全体への周知を行い、現在、職員間同士での紙のやりとりは行っていない。セキュリティ対策等を十分に踏まえた上で対応する。

A <民法 正則 議員>

Q 中央と西部地域防災センターの今後の計画は

A <町長>

地域防災センター整備構想に基づき、西部、中央の順で整備を行う。

【Q1】平成30年7月豪雨で浮き彫りとなった課題とは。

【A1】町内の道路で土砂崩れなどによる遮断、渋滞が起きたとき、役場横の備蓄倉庫から全ての物資を各避難所へ供給することは、困難であることを認識した。

【Q2】小さな町に東部、中央西部の3か所の防災センターが必要なのか。

【A2】災害発生時の物資輸送を短時間で確実にやる範囲を考慮した。このほか、各自自防災組織の活動拠点となることや、今後広げていく民間施設への適切な支援のためにも、3か所が必要である。

【Q3】防災センターの通常の具体的な利用は。

【A3】地域住民や自主防災組織を対象に、防災講座、講演などを開催する。このほか、地域イベントなどにも利用してもらいたい。

【Q4】西部地域防災センターの施設規模は。また、中央地域防災センターは。

【A4】西部地域防災センターは、シャワー室、洗濯室、授乳室、ペット専用スペース等を整備する計画で、最低でも200㎡程度の延べ床面積を考えている。中央地域防災センターは、今の段階では、確定していない。

A <福垣内 邦治 議員>

Q 各種資源の有効利用について

A <町長>

学校の打ち抜き井戸水はグラウンドへの水まきなどに有効活用している。

【Q1】庁舎内のエアコンの設定温度は。

【A1】基本は28℃を目安。一部機器において老朽化により集中管理による調整ができない状況があり議場についても若干寒く感じるかもしれないが、夏場の基本は28℃としている。



【Q2】小中学校での水道利用料金について。

【A2】小中学校全体で、月平均で約73万円となっている。

【Q3】打ち抜き井戸の整備状況は。

【A3】町内小中学校のうち、3校に防災用の打ち抜き井戸を整備している。

【Q4】利用状況は。

【A4】打ち抜き井戸は災害時、非常時用だが、散水栓や水栓柱を設け、グラウンドへの散水等に使用している。防災安全課、NPO法人能野スポーツ振興会等と協議し、日常点検を兼ねて有効利用していきたい。



▲井戸水利用による水やり